

介護職を目指す方へ

現在の資格制度

国家資格 介護福祉士

下記ルート+実務経験3年以上で受験資格

介護職員実務者研修

(ヘルパー・基礎研修終了者は一部研修免除)

基礎研修終了者 : 50時間の講習が必要
ヘルパー1級修了者 : 95時間の講習が必要
ヘルパー2級 : 320時間の講習が必要

介護職員初任者研修

(旧ホームヘルパー2級)

※当法人に就職した場合は、研修受講料の補助制度があります。

初めての方に！
介護の入門資格

介護職員 初任者研修

(旧ホームヘルパー2級)

介護の入り口として知られ、初めて介護を学ぶ方が取得しておくべき基本の資格といえます。ホームヘルパー2級よりも実務で役立つ研修として改善されたものが初任者研修です。実務経験がなくても、どなたでも受講可能。また、ホームヘルパー2級をすでにお持ちの方は、初任者研修を新たに受講し直す必要はありません。

業務範囲が広がる！
キャリアアップの資格

実務者研修

(介護福祉士養成)

介護福祉士につながる研修として新設された実務者研修。ヘルパーや基礎研修の終了者など、段階別の受講が可能です。受講後は「サービス提供責任者」になれる、「たん吸引」など一部の医療行為を習得できる、といったメリットがあります。また、2016年度より介護福祉士の受験資格としてこの実務者研修(450時間)受講が義務付けられることが決定しており、今後大注目の研修です。

経験を積んだ方に！
介護の国家資格

介護福祉士

介護福祉士は、福祉の国家資格の一つ。2015年までは、実務経験が3年以上あれば受験が可能ですが、2016年度以降は、実務経験3年以上に加えて実務者研修(450時間)の受講が必須となりますので、注意が必要です。さらに、実務者研修を受講すると実技試験の免除を受けることができます。(2015年現在)